

シラバス情報

1 ページ

科目情報

科目名称	泉佐野丘陵緑地におけるパークマネジメントプログラムの開発 (地域実践演習)			配当年次	1	授業コード	A220230010
開講年度	2017	単位数	2.0	開講時期	後期授業	科目分類	教養科目

代表教員情報

(カナ) 教員氏名	(タケダシゲアキ) 武田 重昭
--------------	----------------------

担当教員情報

武田 重昭

時間割情報

水曜 2 コマ	B3-604		

メールアドレス等連絡先

オフィスアワー

月曜日 (10:30~12:00)

授業目標

2014年8月に開園した大阪府営泉佐野丘陵緑地を対象に、公園整備のプロセスや多様な主体の関わり方、公園の持つ公益的機能などに関する知識を取得するとともに、それらを踏まえ、自らの創造的発想に基づき、公園の魅力の向上や利用者のコミュニケーションの促進等に資するプログラムを企画・実践することで、課題の発見やその解決のための計画的思考を身につけること目標とします。

教科書

必要に応じて、随時プリント等を配付します。

参考書

- ・パークマネジメント—地域で活かされる公園づくり；田代順孝・中瀬勲他編著；学芸出版社；2011年；2,940円
- ・シビックプライド—都市のコミュニケーションをデザインする；シビックプライド研究会編；宣伝会議；2008年；2,052円
- ・シビックプライド2—都市と市民のかかわりをデザインする；シビックプライド研究会編；宣伝会議；2015年；2,052円
- ・パブリックライフ学入門；武田重昭ほか訳；鹿島出版会；2016年；2,500円

関連科目

--

授業時間外の学習

フィールドとなる公園に訪れ、その公園の特徴や運営の仕組みを理解するとともに、他の公園でのプログラム等にも積極的に参加をし、パークマネジメントの実践を体感することが大切です。

授業概要

大阪府営泉佐野丘陵緑地は、大阪府だけでなく、地域のボランティアの方々や企業・団体の協力のもと、一時にすべてを建設してしまうのではなく、使いながらつくり続ける公園づくりをコンセプトとして公園の整備・運営が進められています。公園を単なるモノとして捉えるのではなく、そこで出会うことができるコトをつくることを大切に、公園の将来像やルールを多様な主体の話し合いによって決めながら、少しずつ整備を進め、何度でも見直し、改善を加えながら、時代とともに姿を変え、いつまでもつくり続ける公園づくりを目指しています。授業担当者はこの公園づくりに参画し、多様な主体の連携や調整を図りながら公園の整備・運営を進めてきています。

本授業では、授業担当者や現場の実務者による講義を通じて、泉佐野丘陵緑地の歴史的・社会的な背景や自然環境の特性、計画プロセス、デザイン技法、マネジメント手法など実際の公園づくりの現状について学びます。さらに、習得した知識をもとに、自らの創造的発想を活かして、公園の魅力の向上や利用者のコミュニケーションの促進等に資するパークマネジメントプログラムを企画提案し、現地で実際に開催し、評価することで、課題の発見やその解決のための計画的思考を身につけるとともに、自らが考えたアイデアを実社会で実現していくために必要な知見を学びます。

成績評価

授業目標の達成度で成績評価を行う。知識習得だけでなく、自分で調べ、考え、他人と連携し、プログラムを企画・実施・評価するという一連のプロセスを重視して評価する。成績は、プログラムの企画・実施に対する積極的な参加度 (60%)、プログラムに対する評価・分析 (40%)

備考

「地域実践演習」の履修には、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険（羽曳野キャンパスの学生はWill 2 に加入）に加入することを条件とします。
学生課学生サポートグループ（羽曳野キャンパスは事務所・学生グループ）において手続きしてください。

URLリンク

URLリンク 1

URLリンク 2

URLリンク 3

授 業 計 画

ステップ1: 泉佐野丘陵緑地の概要説明

- ・歴史的・社会的背景
- ・自然環境の特性
- ・計画プロセス
- ・デザイン技法
- ・マネジメント手法

などに関する説明 (現地の見学および現場の実務者からの説明を含む)

ステップ2: パークマネジメントプログラムの企画立案

- ・プログラム立案における留意点の説明
- ・グループワークによるプログラムの検討
- ・グループディスカッションを通じたプログラムの精査
- ・プログラム企画案の作成

ステップ3: パークマネジメントプログラムの実施

- ・プログラム実施における留意点の説明
- ・プログラム実施に関する各種調整
- ・プログラムの実施

ステップ4: パークマネジメントプログラムの評価

- ・プログラムの評価 (アンケート等による利用者評価を含む)
- ・グループディスカッションによる意見交換
- ・プログラムの課題と改善策の取りまとめ